

紀伊國屋書店
おすすめ!!

学 年 別



小学生に

読んでほしい本

フェア

2022

『がんばれヘンリーくん』改訂新版

ヘンリーくんはどこにでもいそいそと行く小学3年生。ある日、やせこけた犬を助けたことから、その犬のまわりでいろいろなおそそどうがおこります。ヘンリーくんの毎日をのぞいているとあまりにも楽しそうにうらやましくなってしまうかも。

『世界一の三人きょうだい』

両親が留守の間、3年生のマキシは2人の弟と1人暮らしをしている兄のサポートで暮らすことになりました。いろいろなはじめに出会うことで、毎日がどんどん楽しくなっていきます。自分に出来ることをみつけて、同じ時間を過ごす。幸せな毎日のひけつがいっぱい!

『おとうさんがいっぱい』

ある日、この家でもおとうさんが1人、1人...と増えて「自分こそが本物のおとうさんだ」と言いあらそいが始まってしまいます。タイトルにもなっている「おとうさんがいっぱい」の他、こわくてモヤモヤするお話5つ。こわいのが苦手な方は決して読まないで下さい。

『チョコレートのおみやげ』

わたしとおばさんがあそぶ1日。途中で買ったチョコレートを口に運び、おばさんはある物語を語り始めます。物語はほろ苦い結末をむかえますが、わたしはもうひとつの甘い結末をつむぎたいです。物語がもたらしてくれる救いや希望が、つめこまれた1冊です。

『バトン』

植物好きの圭、イラン人のハッサン、兄と2人暮らしをする朝子。3人が抱えるそれぞれの悩みや不安は、おばあちゃんからたくされたひな人形を通して少しずつ形を変えていきます。この希望のバトンがあなたにも届きますように。

『天才コオロギ ニューヨークへ』

大都会ニューヨークに1匹のコオロギがやってきました。このコオロギとある才能を内に秘めていました。その才能が花開く時、ニューヨークに奇跡が起こります!まさかのコオロギが主役のアメリカ児童文学。読後感が最高!の奇跡の物語。

『大おばさんの 不思議なレシピ』

ぶき、ちゃん美奈が、大おばさんのレシピで何かを作ると不思議な世界からのよびだしが!魔女や妖精のいる世界で美奈の活やくが光ります。欠点をプラスに変えて行動する美奈にスカッとすることまちがいなしです。

『オバケ屋敷にお引っ越し スギナ屋敷のオバケさん』

オバケイナロウ、通称オバケさん。料理研究家のオバケさんは古い屋敷に引っ越すことになりました。ところがそのお屋敷どうも様子がおかしいのです。そこでまきおこるふしぎのかずかず、オバケさんがするまうおいそいな料理。食べたい...いえ、読みたいです!

『オイモはときどきいなくなる』

モモと暮らす犬、その名はオイモ。ときどきいなくなるけれどいつだってちゃんと帰ってくるのです。ところがいつまでも家に帰ってこない日があつて...。いることと、いないこと。ほんとうと、ほんとうではないこと。ゆるゆるとまじりあいながら語られる物語。

『コトノハ町は きょうもヘンテコ』

レインの住むコトノハ町はとて、もヘンテコ。だから言葉どおりのことが次々と起こってしまうのです。ことわざや慣用句が現実になるのですからそれはもう大さわぎ。言葉が持つおかしさを味わいつくる、おほかたがよじれる1冊です。

『紙の心』

少年が図書館の本の間から見つけた手紙。そこから始まる少女との秘密の文通。暮る思いを手紙にのせてお互いの日々を交わす2人。一見平和な毎日。思えたが2人の暮らす場所には何か大きな秘密がかくされているようで...。読み始めからは想像出来ない展開に、しみん不足まちがいなしです。

『ペランダに手をふって』

輝は、父を亡くしてから登校時に母と手をふりあうのが日課。その場面を同級生に見られたことをきっかけに大人への扉を少しずつ意識し始めます。子供でいること、大人になること...。不安や期待に彩られた日常を鮮やかに描きだした物語。

『魔法の庭へ』

むかし魔女だったおばさんと暮らす内気な少女ナナミ。妖精姫の狂った時間を治すため戸まといながらも運命に立ち向かいます。誰かのための思いを胸に重き出したナナミが手に入れる未来とは!? あなたもナナミと一緒に探してみして下さい。魔法の庭を。

『きみのいた森で』

嵐で大好きな祖父を亡くし落ち込んでいたステイのもとにエリーという名の少女が現れます。彼女と仲良くなることで元気を取り戻してきた矢先、彼女が目の前から消えてしまふ...。エリーのいない世界とステイのいる世界2つの世界が交さくするパラレルワールドは元に戻るのか!? 祖父のつづいた秘密の書を中心に展開するミステリー。

『あしたの幸福』

父の死により自分の居場所を失いそうになる雨音は、たいたんは決断をします。それは幼い頃に別れた産みの母親と同居すること。本来関わることにならなかつた人達との交流で、雨音の中で何かが変わり始めます。人との関係は時に面倒で、でも無くてはならなくて。人と人の距離感の在り方、そのヒントにぜひ。

『キャンドル』

母の死という圧倒的な現実のみまわれた燈一。抗えない現実により折れてしまわぬようにあきらめることを身に付けていきます。ところが突然彼の頭の中に誰かの記憶が流れこんできて...。どうにもならない「何か」に抗うように灯す灯り。小さくても温かなぬくもりが読者の心にも届いてきます。

『時計坂の家』

夏休み。いとこの手紙に誘われて祖父の住む館に来たフ子。いとこと過ごす夏休みは楽しい時になるはずでした...館にあるあの庭への扉を見つけるまでは「ここではないどこかへ」という名の童話、そのみじかにひそむ恐ろしさを物語としてあぶりだしたファンタジー。

『戦場の秘密図書館 ~シリアに残された希望』

シリア内戦下の町で「がれきの中から本を救い出し地下に秘密図書館をつくる若者達」。本を読むことできびしい現実をのりこえる人々の姿を描いたノンフィクション。本という存在がこうまでも希望になり得る、その真実に出会って下さい。

『夜明けの風』

戦渦の中、1人生き残った少年オウエイン。逃避行の途中出会った1匹の犬、そして1人の少女。ここからオウエインの温かくもやがて過酷な日々が始まります。児童文学の名手サトクリフがオウエインに描く少年と少女の運命の物語。

『ぼくがゆびをぱちんとならして、 きみがおとなになるまえの詩集』

「ことば」って不思議。形があるようで、ないようで。きゅうくつに感じたり、自由だと感じたり。詩人、斎藤倫がつづる詩とことばの物語。おとなになるまえの手前にたたずむ君に、どうかこの本が道しるべになりますように。



【あかね幼年どうわ19】

『みるくぱんぼうや』 あかね書房

ちいさなみるくぱんぼうやはもっとおおきくてひろいせかいをしりたくてながいたびへでかけます。おなべにゆめをいっぱいつめこんでどんなぱんぼうけんにてあえるでしょうか。

【世界のどうわ傑作選1】

『ロッタちゃんのひっこし』 改訂 偕成社

やんちゃできままなロッタちゃん。イヤなゆめをみてむしゃくしゃしてるのにおとなはなににもわかってくれない！こうなったらひっこしちゃうから！「長くつ下のピッピ」の作者リンダグリーンならでこのこどもの心をしっかりとらえておはなしてです。

『宇宙人がいた』 金の星社

けんたろうくんがいえにかえるとなんとそこに宇宙人が！しかもけんたろうくんのかていきょうしになることに…。宇宙人となんてうまくやていけるのでしょうか？宇宙人と、ならでこのやりとりにおもわずプツとふきだしてしまいます。

【どうわのひろばセレクション】

『グラタンおばさんとまほうのアヒル』 新装版 小峰書店

グラタンざらにかかれたアヒルはふしぎなアヒル。かせをひいたもちぬしのおばあさんをたすけるためおさらからとびだします。そこからはじまるアヒルのさすらいのまいにち。はたしてアヒルはどどこにいきつくのでしょうか！？

【福音館創作童話シリーズ】

『れんこちゃんのさがしもの』 福音館書店

おれんこちゃんがいすきれおくんがれんこんをきたら「れんこちゃん」になって台所をとびだしました！にもものになりたくないれんこちゃんをれおくんはひっしにおいかけます。のぞむ何かになるためにがんばるれんこちゃん。何になつたかはよんどのおたのしみ。

【こくまのどんどんぶんこ】

『にわとり城』 こくま社

びんぼうでのんびりや、バツヤさしいむすこはたべることにこまって世話をしていた1羽のにわとりとたびにでます。まよいこんだ森の中でまものどぞあいなぞ"なぞ"対決をすることに。勝負のゆえ、1人と1羽のうんめいは…。ハラハラドキドキをあじわって下さい。

【新装版ゆかいなゆかいなおはなし】

『トミーは大いそぎ』 新装版 大日本図書

市長さんにとどけるたいじな手紙をたくされたトミー。タクシーにしょうぼうしゃ、なんとケ-ブルカーにのりこんで市長さんをおいかけます。つかまりそうでつかまらない手にあせにぎるけつまつははたしてどうなるのでしょうか。

『おばあちゃんのわすれもの』 のら書店

こぶたのトンタはおばあちゃんといっしょにおでかけします。ところがきがつくとおばあちゃんのおえがない！トンタはひとり、つえをさがしにむかいます。じぶんではないだれかのためにひたむきになるトンタにたくさんのおえをおくして下さい。

『たまごのはなし』 ブロンズ新社

たまごに目、はな、手、足がついてうごいてかたりはじめます。いったいなにをかたりはじめるのでしょうか。ちよびりひねくれものたまごのかたってきかせるおはなしは「かんがえること」をかんがえさせてくれるはずぞ。

【GO! GO! ブックス1】

『トムと3時の小人』 ポプラ社

つとむが古どうぐやでみつけた古い赤色の本。びひかれ、別の日とよかんでおなじ本をさがしたら、でてきたのはそっくりだけれど青色の本。本につづられた物語はふしぎとなぞにみちいて…。ゆめとげんじつをいたりきたりするふしぎなどくしょをどうぞ。



低学年向け

書名	著者 / 絵 / 訳者	税込価
みるくばんぼうや	神沢利子 / 田畑精一	¥1,100
にわとり城	松野正子 / 大社玲子	¥1,320
ロッタちゃんのひっこし 改訂	アストリッド・リンドグリーン / アイロン・ウィクランド	¥1,320
トミーは大いそぎ 新装版	ヘレン・マリオン・パーマー / 赤坂 三好 / 光吉 夏弥	¥1,320
宇宙人がいた	山田知子 / 伊東美貴	¥1,320
おばあちゃんのわすれもの	森山京 / 100%ORANGE	¥1,430
グラタンおばあさんとまほうのアヒル 新装版	安房直子 / 伊勢英子	¥1,430
たまごのはなし	しおたにまみこ	¥1,210
れんこちゃんのさがしもの	戸森しるこ / スケラッコ	¥1,320
トムと3時の小人	高樓方子 / 平澤朋子	¥1,518

中学年向け

書名	著者 / 絵 / 訳者	税込価
がんばれヘンリーくん 改訂新版	ベヴァリー・クリアー / ルイス・ダーリング / 松岡享子	¥1,320
天才コオロギニューヨークへ	ジョージ・セルデン / ガース・ウィリアムズ / 吉田新一	¥1,650
世界の三人きょうだい	グードルン・メプス / 山西ゲンイチ / はたさわゆうこ	¥1,540
大おばさんの不思議なレシピ	柏葉幸子 / 児島なおみ	¥880
おとうさんがいっぱい	三田村信行 / 佐々木マキ	¥1,650
オバケ屋敷にお引越し スギナ屋敷のおバケさん	富安陽子 / たしろちさと	¥1,430
チョコレートのおみやげ	岡田淳 / 植田真	¥1,650
オイモはときどきいなくなる	田中哲弥 / 加藤久仁生	¥1,540
バトン	中川なをみ / 大野八生	¥1,430
コトノハ町はきょうもヘンテコ	昼田弥子 / 早川世詩男	¥1,100

高学年向け

書名	著者 / 絵 / 訳者	税込価
紙の心	エリーザ・ブリチェッリ・グエッラ / 長野徹	¥1,870
キャンドル	村上雅郁	¥1,540
ベランダに手をふって	葉山エミ / 植田たてり	¥1,540
時計坂の家	高樓方子 / 千葉史子	¥2,090
魔法の庭へ	日向理恵子 / 三角芳子	¥1,485
戦場の秘密図書館~シリアに残された希望	マイク・トムソン / 小国綾子	¥1,650
きみのいた森で	ビート・ハウトマン / こだまともこ	¥1,760
夜明けの風 新版	ローズマリー・サトクリフ / 灰島かり	¥2,310
あしたの幸福	いとうみく / 松倉香子	¥1,540
ほくがゆびをばちんとならして、 きみがおとなになるまえの詩集	斉藤倫 / 高野文子	¥1,320